

講座No.	講師名	講座テーマ	講座内容
保-1	石川 由美 教授	自分でできる口臭ケア	口臭は食事だけでなく、口や身体の状態など様々な原因で発生します。自分でできる口臭のチェックポイントや口臭予防のためのケアの方法についてお話しします。
保-2		お口の癖(くせ) —あなたは無意識にやっていますか？—	日常生活の中で、勉強やゲームをしている時、ぼーっとしている時などに無意識に行っているお口の癖が習慣的になると、歯並びに影響するだけでなく、顔の形が変わったり、全身の健康状態にも影響を及ぼすことがあります。お口の癖のチェック方法と予防についてお話しします。
保-3	金子 潤 学部長・教授	ホワイトニングで歯を白く美しく！	健康であること、そして美しくあることは、年齢や性別にかかわらず多くの人々の願いであると思います。とくに、顔の表情を左右する口元の美しさは、目元とともに顔全体の印象に大きく影響を及ぼすものであり、他人との関わり合いにおいてとても重要な要素です。今日では、歯を削ることなく、各人が望む白い歯を獲得できる手法である「歯のホワイトニング」が広く知られるようになりました。これによって、歯科治療が健康と美しさに対してさらに貢献できるようになったと考えられています。そこで、歯のホワイトニングに関する基本的な概要、そして歯の健康との関わりについて考えてみたいと思います。
保-4	金久 弥生 教授	楽しく美味しい食事のメカニズム	楽しく美味しい食事を召し上がるためには、お口の健康が欠かせません。「食べる」ためのお口のメカニズムや食事と身体の関係を知り、いつまでも楽しく美味しい食事を召し上がれる身体とお口の健康づくりを考えてみましょう。
保-5	河野 舞 教授	おっかないよ！口呼吸	今、お口で息をしていますか？鼻で息をしていますか？マスクの下でお口は開いていませんか？皆さんも一度は「口呼吸より鼻呼吸が良い」と聞いたことがあると思いますが、この授業ではその理由について、口呼吸で生じる身体へのデメリットや、鼻呼吸のメリットを中心に、お口周りのストレッチをしながら一緒に学んでみましょう。

講座No.	講師名	講座テーマ	講座内容
保-6	吉川 正芳 教授	マウスピース矯正装置で歯並びが治るのか！	近年矯正歯科治療に大きなパラダイムシフトが起きている。それは、今まで行ってきたマルチブラケット装置(歯に装置を固定して、ワイヤーで直す)に対して、マウスピースを数週間に何度も交換して歯並びを改善する装置(目立たない)で不正咬合を改善する。ただし、多くの問題点も発生している現状である。そこで、マウスピース装置で不正咬合は治るの！について考えてみませんか。
保-7		フッ素塗布って歯に良いのですか？フッ素は虫歯予防になる！それってホント！！	18世紀末アメリカのある川に属した町の市民に虫歯の発生が少なかった事と斑状歯のある人がいることがわかったが、何がその原因か調べていると川の水に高濃度のフッ素が含まれていることが発見された。そして、フッ素は歯に良いことだとなり現在にフッ素入りの歯磨剤が蔓延している。では、実際に歯にどのような効果があるか考えてみよう。
保-8	三分一 恵里 准教授	どうして、お口の健康は大切なのです？	食えるとき、話すとき、呼吸をするとき、どうやってお口を動かしているか、考えたことがありますか？お口が元気であることは、豊かな人生にもつながります。生涯にわたって、おいしく食べるため、楽しく話すために、普段何気なく使っているお口の働きを知り、その働きを守る方法を一緒に考えてみましょう。
保-9	星合 愛子 准教授	歯科衛生士のお仕事	①歯科衛生士の業務 ②歯科衛生士になるためには ③病院での歯科衛生士の役割
保-10	森下 志穂 准教授	歯科衛生士の研究	研究と聞くと、どんなことを想像しますか。歯科衛生士が研究をすることは特別なことでしょうか。どのように研究に取り組むのか、歯科衛生士としての目線で、人びとの健康にどのように貢献できるかについて考えていきましょう。
保-11	宮澤 慶 講師	かみ合わせと運動能力	スポーツをするときに歯が痛んだら十分に実力を発揮できません。かみ合わせの状態は人によって千差万別です。かむ力が強い人・弱い人、両方の奥歯でかめる人・片側でしか上手にかめない人など様々な状態があります。かみ合わせによって運動能力にどのような差が出るのかを学習します。
保-12	山村 有希子 講師	よく噛んで元気！ —噛むことの大切さ—	①よく噛むことの全身への影響 ②おいしい呪文？「まごわやさしい」 ③唾液の効果 ④やってみよう唾液腺マッサージ